

『スピード2』

-Speed 2 Cruise Control-

(1997年公開)

今度はカリブ海クルーズでノンストップ・アクション
3億ドルのダイヤと恋する二人を乗せて船は大暴走!

カップルでボートに乗ると別れる、そんなジンドグスを一度は聞いたことがあるだろう。水の神様や船の神様は女性だから嫉妬するという話もあるが、公園のボートでデートをする若い恋人たちが、この先も別れず、一生添い遂げる方が数少ないのは、現実的に見ても統計学的に見ても明らかだ。

心理的に見てみよう。船は漕ぎ出してしまえば、周りから隔離された空間になる。小さなボートは完全に二人きりの世界だ。話の糸口も話題も、どちらかが見つけたり提供したりしないと、コミュニケーションは成り立たない。あなたと一緒にいるだけで幸せ! 言葉は要らないラブラブな二人は別だろうが、会話がありまらにも弾まなさすぎると、お互い場が持たなくて気まずくなる。船

は、カップル間の問題を浮き彫りにしやすい乗り物なのだ。

良きパートナーになるか
船に乗れば分かる!?

船には「人生の荒波を進んでいく」イメージがあり、女性は一緒に乗っている男性を「パートナー」としてシビアにチェックしている。もし男性がボートをうまく漕げないと、その姿に女性はたちまち幻滅し、心の中で無意識に「パートナー失格」のレッテルを貼ってしまうのだ。

本来、船に乗ることは二人の関係を深める心理効果がある。船上ならではの揺れは、「吊り橋効果」を起こすからだ。吊り橋効果とは、揺れる吊り橋を渡る時のドキドキを、一緒にいる相手に対してのドキドキと勘

違い、恋愛感情に発展する可能性が高いというもの。1947年に、カナダの心理学者、ダットンとアロンによって行われた「生理・認知説の吊り橋実験」によって実証された心理現象だ。

吊り橋と恋、この2つのドキドキは全く違うもののだが、人間の脳では区別しにくいらしい。また、吊り橋だけでなく、ジェットコースターなどスピードとスリルのある乗り物体験でも起こると言う。

大ヒット映画の続編は
カリブ海クルーズが舞台

「スピード2」は、主演のキアヌ・リースとサンドラ・ブロックを一躍スターに押し上げた、ノンストップ・アクション映画の続編である。スピードを落とすと爆発する爆弾を仕掛けられたバスを舞台にしたパート1では、「非常事態の中で芽生えたロマンスは長続



トロピカルドリンク片手に、カリブ海クルーズの始まりを満喫するアニーとアレックス

きしない」というヒロイン、アニーの台詞があったが、それは現実になっていった。3年後に公開された本作品ではアニーはキアヌ演じるジャックとは別れ、新しい恋人アレックスと熱愛中。だが、優しすぎる彼になかなか慣れないでいた。

実際7カ月目のデートを夜に控えた日、ある事件がきっかけとなり、恋人がSWAT(警察特殊部隊) 隊員だったことを初めて知る。いつも無茶ばか

りしてハラハラさせられていた元彼と同じ職業だったことに戸惑うアニーに、アレックスが「お互いを知るために出かけよう」と誘ったのがカリブ海クルーズだった。船内ではジュエリー・コンベンションが行われ、全米から総額3億ドルを超えるダイヤが持ち込まれている。それを狙い、船に爆弾を仕掛けようとする男がいた。

世界最高峰の客船を
6週間貸切りで撮影

彼らが乗り込んだ豪華客船は、シー

ボーンクルーズ社のレジェンド号である。1万トンの小型客船ではあるが、プライベートタイムを最優先とするホスピタリティ、大型客船では味わえないキメ細やかなサービスが世界中のクルーズ愛好家から評価され、「フィードバック・クルーズガイド」で最高位格付の6スターを獲得、「スターンズ・クルーズガイド」では、ブラックス・リボンクラスで最高得点の5プラスに輝いている。「最後に辿り着く客船」と呼ばれ、リピーター率が高い客船としても知られている世界最高峰のラグジュアリーシップを、映画製作のために6週間チャーターし、操舵室やマリーナのほか、5つの客室で撮影が行われた。さらに、CGでは出せないリアルな迫力を求め、マイアミとジャクソンビルのドライブドックで実物大レプリカを建造している。

さて映画では、アレックスはロマンチックな船上プロポーズを計画するが、指輪を渡す前に船酔いでダウンしてしまう。彼を介抱し、深夜の映画を見ながら添い寝するアニーの姿に、人生の荒波も越えていける愛の深さを感じた。パート3があってもアニーのパートナーはもう変わらないだろう。(クルーズ映画ライター あいさわみき)

2016年6~8月客船来航予定スケジュール (主要港)

東京港 (6月のみ) コスタ・ビクトリア 6月15日	名古屋港 (6月、8月) クアンタム・オブ・ザ・シーズ 6月27日	ダイヤモンド・プリンセス 6月10日	スカイシー・ゴールデン・エラ 6月3・11・20・29日
横浜港 (6月~8月) ダイヤモンド・プリンセス 6月15・24日 7月3・8・16~17・25日 8月4・15・24・31日	ダイヤモンド・プリンセス 8月23日	オーシャン・ドリーム 7月27~29日 8月9~12・19日	コスタ・セレーナ 6月6・12・24日 7月2・10・18日
MSCリリカ 6月19~20日 8月19~20日	大阪港 (6月、7月) カレドニアン・スカイ 6月1日	クアンタム・オブ・ザ・シーズ 8月25日	ゴールデン・プリンセス 6月7・17日、7月6日
クアンタム・オブ・ザ・シーズ 6月26日	クアンタム・オブ・ザ・シーズ 6月28日	レジェント・オブ・ザ・シーズ 8月29日	サファイヤ・プリンセス 6月13・21・25・29日 7月14・19・23日
サン・プリンセス 7月21日	博多港 (6月・7月一部) コスタ・アトランチカ 6月1・16・21・26日 7月1・6・11・21日	MSCリリカ 6月14日、7月8・20・24・28日	マリナー・オブ・ザ・シーズ 6月15・22・30日
オーシャン・ドリーム 7月26日 8月13~14・18日	神戸港 (6月~8月) コスタ・ビクトリア 6月1・17日	MSCリリカ 6月14日、7月8・20・24・28日	レジェント・オブ・ザ・シーズ 6月28日、7月27日
レジェント・オブ・ザ・シーズ 8月27日	MSCリリカ 6月5・18日、8月1・18・27日	マリナー・オブ・ザ・シーズ 6月2・6日 7月4・13・17・31日	クアンタム・オブ・ザ・シーズ 7月12・20日
		コスタ・フォーチュナ 6月3・6・15・19・23・27日 7月5・9・13・29日	

※掲載している情報は2016年4月末時点のものです。日程は変更になる場合があります。